

平成23年滋賀県貿易実態調査結果概要

平成25年3月
滋賀県商工観光労働部観光交流局

I 調査の概要

- 1 調査対象期間
平成23年1月1日～平成23年12月31日
- 2 調査の方法
調査対象企業に調査票を郵送し、回収して集計。
- 3 調査対象企業および回答状況
従業員数30人以上の製造業の事業所
 - (1) 対象企業数 946
 - (2) 回答企業数 422 (回答率44.6%)

貿易実績のある企業		() 内は延べ企業数	
大企業	輸出・輸入	46	
	輸出のみ	8	(輸出 54)
	輸入のみ	17	(輸入 63)
	計	71	
中小企業	輸出・輸入	59	
	輸出のみ	26	(輸出 85)
	輸入のみ	39	(輸入 98)
	計	124	
合計	輸出・輸入	105	
	輸出のみ	34	(輸出 139)
	輸入のみ	56	(輸入 161)
	計	195	

※ 利用上の注意事項

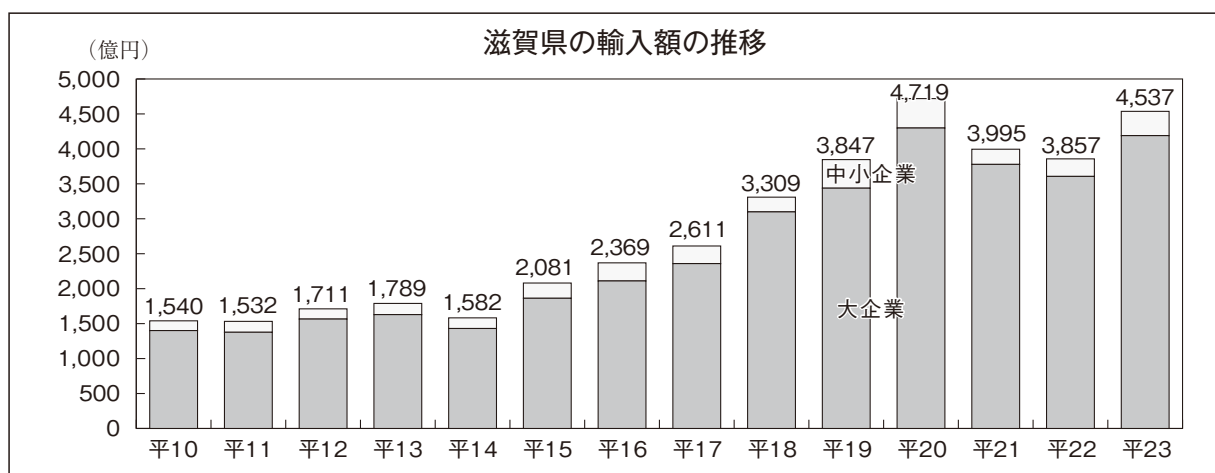
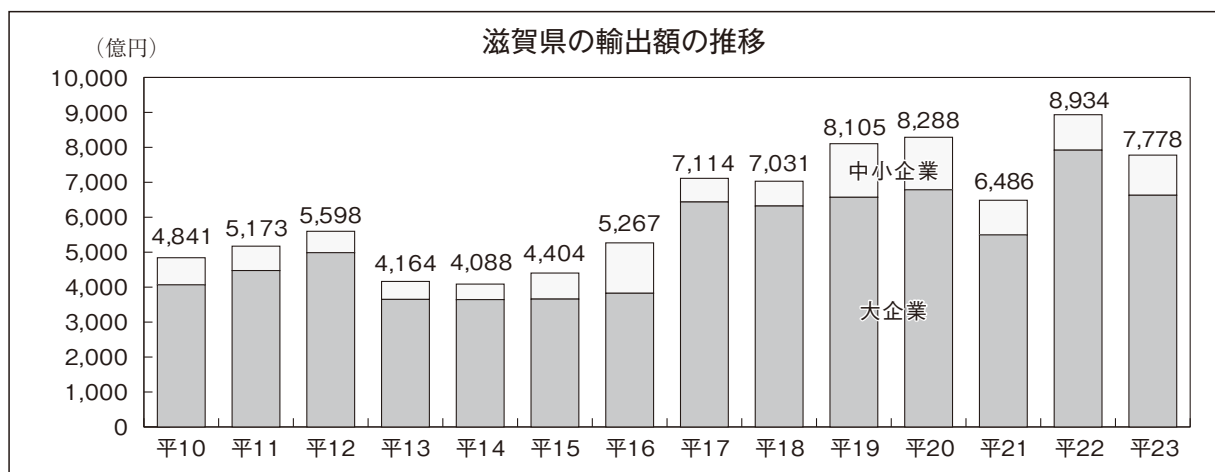
- (1) 本調査は、本県の輸出入の傾向を知るため単年毎に実施している任意調査であり、回答のあった事業所の輸出入額（本社経由および親企業、商社経由等の間接輸出入を含む）を集計したものであるため、必ずしも本県の総輸出入額とは言えない。
- (2) 本調査においての大企業・中小企業の区分については、資本金の額または出資の総額が3億円以下の企業または常時雇用する従業員数が300人以下の会社を中小企業とした。
ただし、平成10年度までの大企業・中小企業の区分については、資本金の額または出資の総額が1億円以下の会社ならびに常時使用する従業員数が300人以下の会社が中小企業となっている。
- (3) 輸出入品目の分類は日本標準産業分類を基本とした。
- (4) 各表の各数値の合計は四捨五入の関係で計欄の数値と一致しない場合がある。

Ⅱ 輸出入の状況

1 輸出入概況

滋賀県貿易実態調査によると、本県の平成23年の輸出額は7,777億79百万円で、輸入額は4,536億84百万円であった。平成22年は、輸出額が前年度を大きく上回ったが、平成23年は輸出額が減少し年間貿易額（輸出額＋輸入額）は前年比で3.7%の減少となった。

企業区分で見ると、中小企業の輸出額は、1,148億55百万円で全体の14.8%、輸入額は、347億36百万円で全体の7.7%となっている。



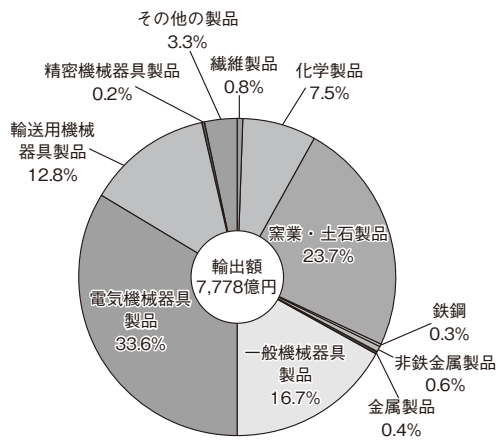
滋賀県の輸出額および輸入額の推移

（単位：百万円）

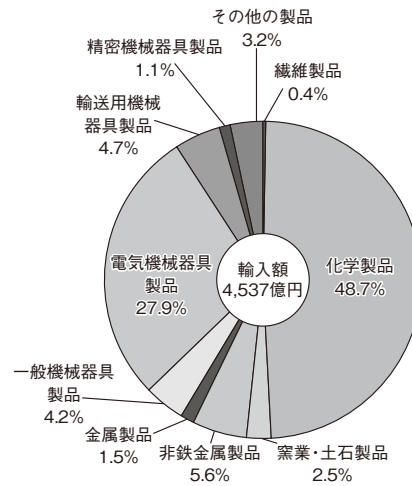
年次	輸 出 額			輸 入 額		
	大企業	中小企業	計	大企業	中小企業	計
平成10年	406,674	77,475	484,149	140,054	13,946	154,000
平成11年	447,533	69,731	517,264	137,626	15,599	153,225
平成12年	498,673	61,170	559,843	156,522	14,602	171,124
平成13年	364,958	51,413	416,371	162,884	16,007	178,891
平成14年	364,368	44,386	408,754	143,040	15,209	158,249
平成15年	365,809	74,544	440,353	186,254	21,824	208,078
平成16年	382,512	144,220	526,732	211,027	25,915	236,942
平成17年	643,684	67,681	711,365	235,870	25,200	261,070
平成18年	632,145	70,956	703,101	309,848	21,070	330,918
平成19年	657,074	153,387	810,461	343,764	40,899	384,663
平成20年	678,605	150,244	828,849	429,836	42,085	471,921
平成21年	549,545	99,082	648,627	377,809	21,701	399,510
平成22年	791,950	101,459	893,409	360,629	25,081	385,710
平成23年	662,924	114,855	777,779	418,948	34,736	453,684

2 商品別輸出・輸入の状況

商品別輸出額（平成23年）

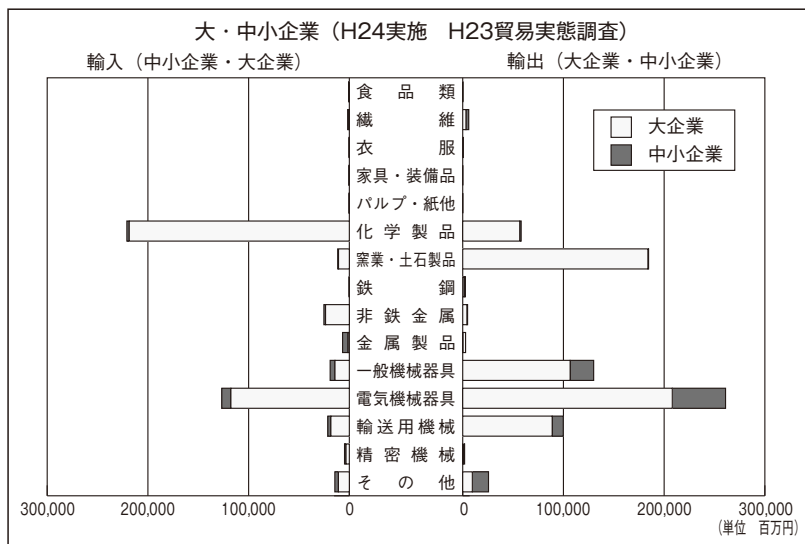


商品別輸入額（平成23年）



（単位：百万円）

品目	商品別輸出額（平成23年）						商品別輸入額（平成23年）					
	総		大企業		中小企業		総		大企業		中小企業	
	輸出金額	構成比	輸出金額	構成比	輸出金額	構成比	輸入金額	構成比	輸入金額	構成比	輸入金額	構成比
食料品	25	0.0%	0	0.0%	25	0.0%	472	0.1%	148	0.0%	323	0.9%
繊維製品	5,980	0.8%	3,192	0.5%	2,788	2.4%	1,589	0.4%	348	0.1%	1,242	3.6%
衣料・その他の繊維製品	567	0.1%	0	0.0%	567	0.5%	215	0.0%	2	0.0%	213	0.6%
家具・装備品	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	400	0.1%	0	0.0%	400	1.2%
パルプ・紙・紙加工品	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	185	0.0%	13	0.0%	172	0.5%
化学製品	58,058	7.5%	56,583	8.5%	1,475	1.3%	220,915	48.7%	218,522	52.2%	2,393	6.9%
窯業・土石製品	184,545	23.7%	183,859	27.7%	686	0.6%	11,526	2.5%	10,742	2.6%	784	2.3%
鉄鋼	2,630	0.3%	1,369	0.2%	1,261	1.1%	191	0.0%	0	0.0%	191	0.6%
非鉄金属製品	4,833	0.6%	4,135	0.6%	698	0.6%	25,290	5.6%	23,616	5.6%	1,674	4.8%
金属製品	2,845	0.4%	8	0.0%	2,837	2.5%	6,701	1.5%	1,268	0.3%	5,433	15.6%
一般機械器具製品	130,022	16.7%	106,650	16.1%	23,373	20.3%	19,054	4.2%	14,252	3.4%	4,802	13.8%
電気機械器具製品	260,972	33.6%	208,093	31.4%	52,879	46.0%	126,619	27.9%	117,607	28.1%	9,012	25.9%
輸送用機械器具製品	99,813	12.8%	88,832	13.4%	10,980	9.6%	21,335	4.7%	18,326	4.4%	3,009	8.7%
精密機械器具製品	1,879	0.2%	639	0.1%	1,240	1.1%	4,771	1.1%	3,271	0.8%	1,500	4.3%
その他の製品	25,609	3.3%	9,564	1.4%	16,045	14.0%	14,420	3.2%	10,832	2.6%	3,588	10.3%
計	777,779	100.0%	662,924	100.0%	114,855	100.0%	453,684	100.0%	418,948	100.0%	34,736	100.0%

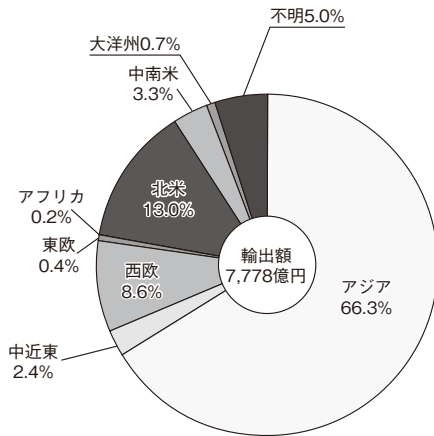


商品別輸出実績では、電気機械器具製品が、2,609億72百万円で最も多く、全体の33.6%を占めている。次いで窯業・土石製品の1,845億45百万円（構成比23.7%）、一般機械器具製品の1,300億22百万円（構成比16.7%）の順となっており、輸送用機械器具製品や精密機械器具製品を含めた機械関連業種で全体の63.3%を占める。

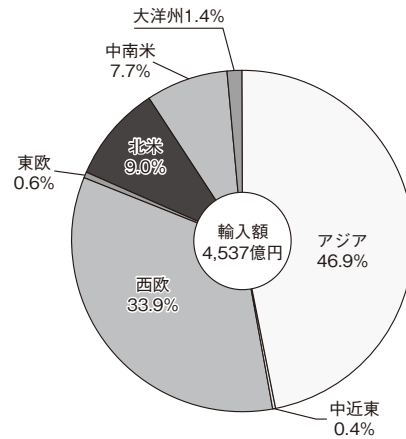
商品別輸入実績では、化学製品が2,209億15百万円で最も多く、全体の48.7%を占めている。次いで、電気機械器具製品の1,266億19百万円（構成比27.9%）、非鉄金属製品の252億9千万円（構成比5.6%）の順となっている。

3 輸出仕向地・輸入仕入地の状況

仕向地別輸出額（平成23年）

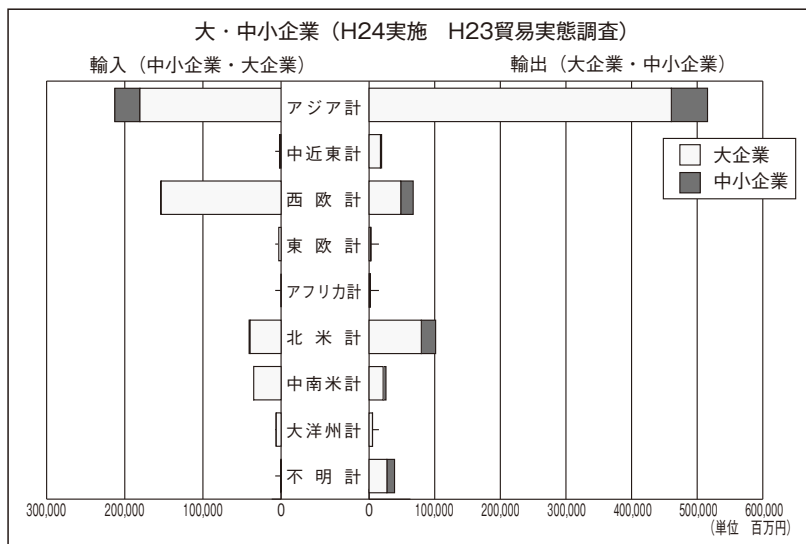


仕入地別輸入額（平成23年）



（単位：百万円）

地域	仕向地別輸出額（平成23年）						仕入地別輸入額（平成23年）					
	総数		大企業		中小企業		総数		大企業		中小企業	
	輸出金額	構成比	輸出金額	構成比	輸出金額	構成比	輸入金額	構成比	輸入金額	構成比	輸入金額	構成比
アジア	515,773	66.3%	460,652	69.5%	55,122	48.0%	212,713	46.9%	180,585	43.1%	32,128	92.5%
中近東	19,038	2.4%	17,292	2.6%	1,747	1.5%	1,950	0.4%	1,445	0.3%	505	1.5%
西欧	67,189	8.6%	48,242	7.3%	18,947	16.5%	153,887	33.9%	153,278	36.6%	608	1.8%
東欧	2,884	0.4%	2,225	0.3%	659	0.6%	2,937	0.6%	2,937	0.7%	0	0.0%
アフリカ	1,720	0.2%	1,335	0.2%	385	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
北米	101,405	13.0%	79,614	12.0%	21,791	19.0%	40,891	9.0%	39,597	9.5%	1,294	3.7%
中南米	25,727	3.3%	21,380	3.2%	4,346	3.8%	35,072	7.7%	35,002	8.4%	71	0.2%
大洋州	5,261	0.7%	5,079	0.8%	182	0.2%	6,216	1.4%	6,104	1.5%	112	0.3%
不明	38,781	5.0%	27,105	4.1%	11,676	10.2%	17	0.0%	0	0.0%	17	0.0%
計	777,779	100.0%	662,924	100.0%	114,855	100.0%	453,684	100.0%	418,948	100.0%	34,736	100.0%

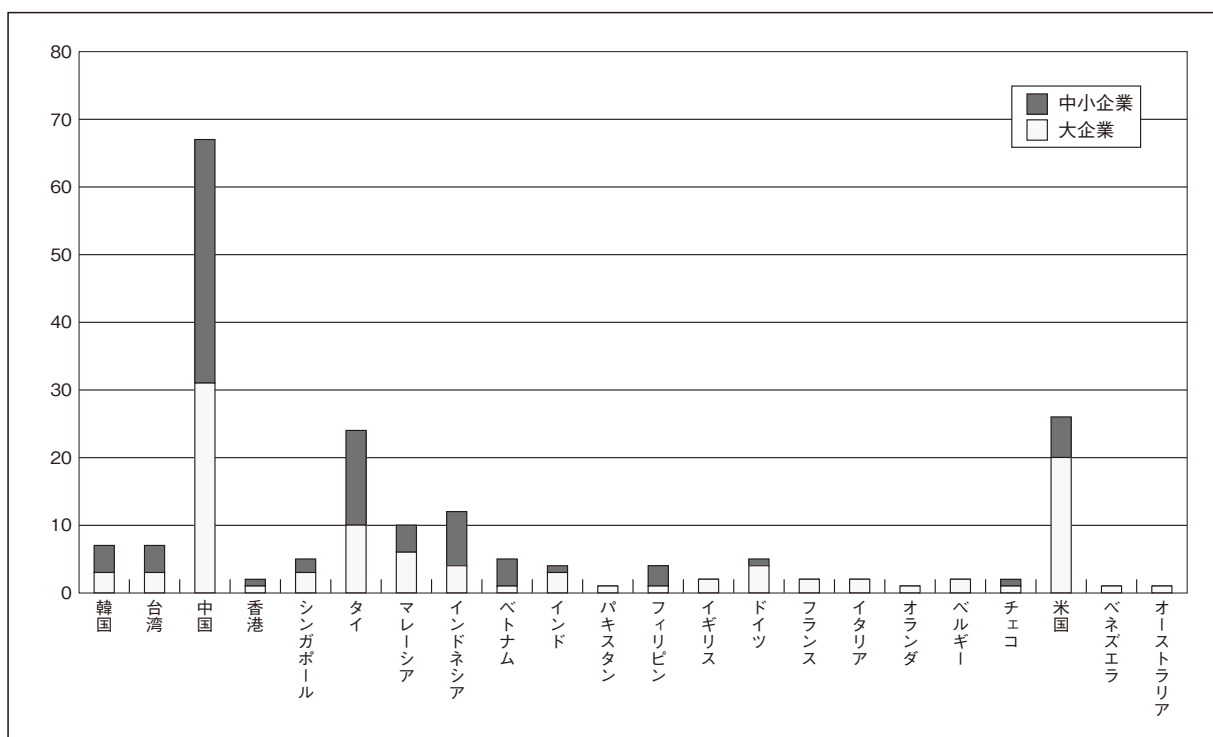


仕向地別輸出実績は、アジア向けが最も多く5,157億73百万円で全体の66.3%を占めている。次いで、北米向けの1,014億5百万円（構成比13.0%）、西欧向けの671億89百万円（構成比8.6%）となっている。

仕入地別輸入実績は、アジアが最も多く2,127億13百万円で全体の46.9%を占めている。次いで、西欧の1,538億87百万円（構成比33.9%）、北米の408億91百万円（構成比9.0%）となっている。

Ⅲ 海外進出の状況（海外に関係工場・事業所を有する県内事業所数）（注：延べ事業所数）

1 海外関係工場・事業所の進出先



2 海外進出の状況

進出地域	進出国	大企業	中小企業	計
アジア	韓国	3	4	7
	台湾	3	4	7
	中国	31	36	67
	香港	1	1	2
	シンガポール	3	2	5
	タイ	10	14	24
	マレーシア	6	4	10
	インドネシア	4	8	12
	ベトナム	1	4	5
	インド	3	1	4
	パキスタン	1	0	1
	フィリピン	1	3	4
西欧	イギリス	2	0	2
	ドイツ	4	1	5
	フランス	2	0	2
	イタリア	2	0	2
	オランダ	1	0	1
	ベルギー	2	0	2
東欧	チェコ	1	1	2
北米	米国	20	6	26
中南米	ベネズエラ	1	0	1
大洋州	オーストラリア	1	0	1
合計		103	89	192

3 今後の海外進出の意向

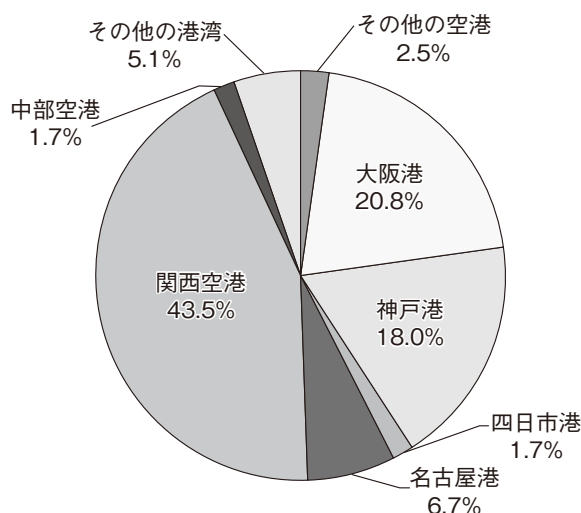
進出地域	進出国	大企業	中小企業	計
アジア	韓国	1	0	1
	中国	6	3	9
	タイ	1	2	3
	インドネシア	0	2	2
	ベトナム	2	0	2
	インド	2	0	2
	ミャンマー	0	1	1
	東欧	ロシア	0	1
北米	カナダ	0	1	1
中南米	ブラジル	1	0	1
	メキシコ	1	0	1
大洋州	オーストラリア	0	1	1
合計		14	11	25

海外進出の最も多い地域は本県貿易総額の6割以上を占めるアジア地域であり148社が進出している。次が北米地域で26社である。西欧については、ドイツを中心に14社である。アジアについては中国をはじめ東南アジアを中心に広く進出している。国別では中国に次いで進出企業数が多いのは米国であり26社が進出している。また少数ではあるがパキスタン、オランダ、ベネズエラ、オーストラリアに進出している企業もある。今後の進出予定については、中国をはじめとするアジア地域への進出意向が高い。

IV 輸出入の際に使用する港湾・空港

※企業数。複数回答可。回答のあったところのみ集計。

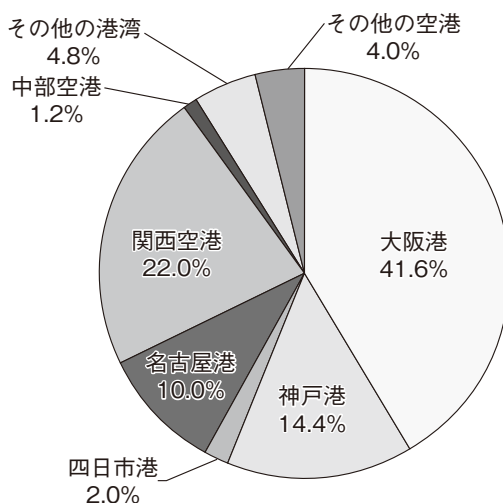
使用港湾・空港（輸出・平成23年）



使用港湾・空港（輸出・平成23年）

	大阪港	神戸港	四日市港	名古屋港	関西空港	中部空港	その他港湾	その他空港	計
大企業	29	30	6	13	26	2	13	8	127
中小企業	45	34	0	11	129	4	5	1	229
小計	74	64	6	24	155	6	18	9	356
構成比	20.8%	18.0%	1.7%	6.7%	43.5%	1.7%	5.1%	2.5%	100.0%

使用港湾・空港（輸入・平成23年）



使用港湾・空港（輸入・平成23年）

	大阪港	神戸港	四日市港	名古屋港	関西空港	中部空港	その他港湾	その他空港	計
大企業	40	17	4	13	24	3	4	8	113
中小企業	64	19	1	12	31	0	8	2	137
小計	104	36	5	25	55	3	12	10	250
構成比	41.6%	14.4%	2.0%	10.0%	22.0%	1.2%	4.8%	4.0%	100.0%

輸出入に使用する港湾・空港については、港湾では大阪港・神戸港・名古屋港、空港では関西空港を中心に、本県の立地特性により周辺の阪神・中京地域などの港湾・空港が広く利用されている。

V 平成23年貿易の変化について

平成23年は、前年（平成22年）と比較して輸出総額が12.9%の減、輸入総額が17.6%の増であった。

地域別にみると、輸出については約3分の2を占めるアジア地域が前年比で18.6%の減となっている。国別では台湾、シンガポール、インドネシアへの輸出が大きく減少している。平成22年に大幅に増加した北米地域も7.7%の減となり、中近東および中南米を除いたすべての地域で減少している。輸入については、広い地域で増加しており、国別ではフィリピン、シンガポール、インドで大きく増加している。

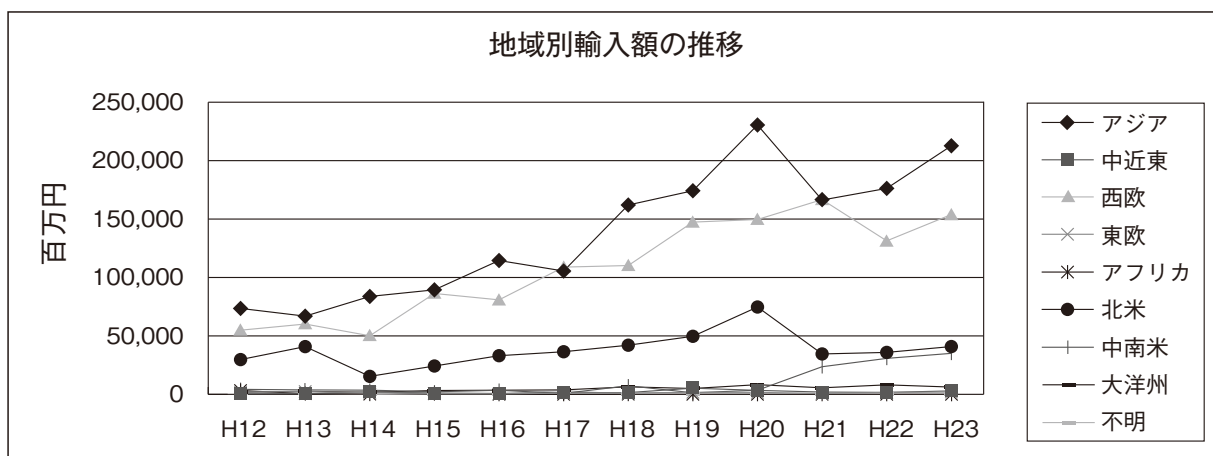
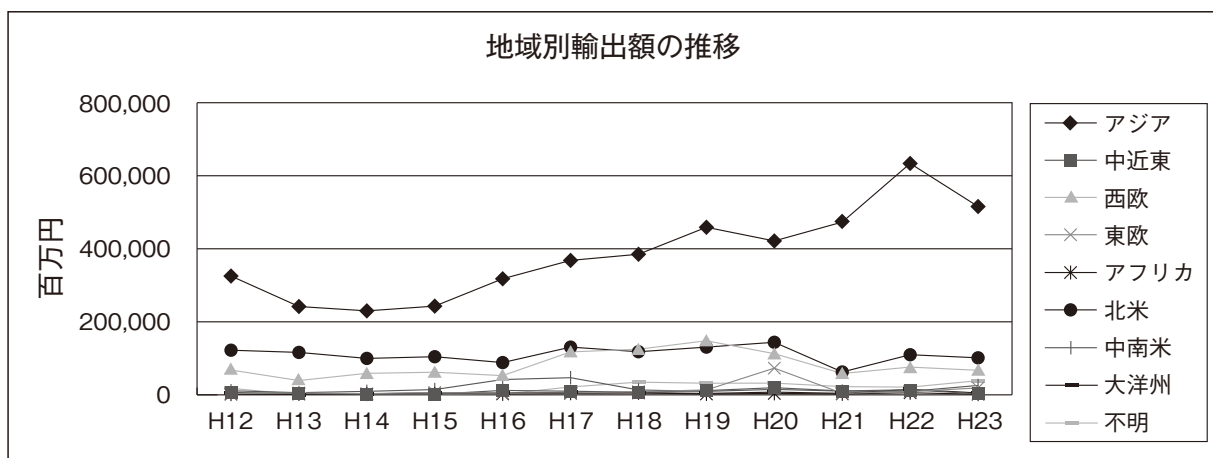
品目別の輸出については、全体の6割以上を占める一般機械器具、電気機械器具、輸送用機械などの機械関連業種で前年比13.2%の減となっている。輸入については、全体の約半分を占める化学製品で前年比14.4%の増のほか、機械関連業種では30.8%の増となっている。

企業区分で見ると、中小企業の輸出額は1,148億55百万円で全体の14.8%、輸入額は347億36百万円で全体の7.7%となっており、輸出では13.2%の増、輸入では38.5%の増となっている。

詳しく分析するため、前年と対比可能な企業（大企業49社、中小企業86社）を抽出し比較した結果、大企業平均で輸出が13.4%減、輸入が14.1%増、中小企業平均では、輸出が4.5%減、輸入が18.2%増となっており、大企業・中小企業ともに輸出が減少し輸入が増加している。特に、中小企業においては輸出の減少が小さく、輸入の増加が大きい。

輸出額・輸入額の増減の程度については、大企業・中小企業とも企業による差が大きい。企業数で比較すると、輸出が減少した企業数は大企業18社、中小企業30社であり、前年と比べ輸出額が3割以上減少した企業数は大企業5社、中小企業9社となっている。また、輸入が増加した企業数は大企業27社、中小企業43社であり、前年と比べ輸出額が3割以上増加した企業数は大企業14社、中小企業24社となっている。

以上のとおり、本県における平成23年の輸出入の状況は、全体的に輸出は減少して輸入は増加しており、戦後最高値を更新するなど年間を通じて円高であった影響と考えられる。



発行
〒520-8577
大津市京町四丁目1-1
滋賀県商工観光労働部観光交流局
TEL 077-528-3743



古紙配合率100%再生紙を使用しています